

2023年度 活動方針・事業計画（案）

1 活動方針

- ・「なにわエコ会議」は、市民、環境NGO/NPO、学識経験者、事業者、大阪市が一体となって、地球温暖化防止活動をはじめ、さまざまな地球環境問題に取り組み、SDGsの達成に寄与していきます。また、大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創パートナーとして、SDGsの達成に向けた、次世代をはじめ市民等の環境学習支援を行います。
- ・環境情報誌「なにわエコウェブ」の充実や、積極的な情報発信や、情報共有を通じて、会員団体・役員団体との連携を強化するとともに、あらゆる環境活動団体との連携・交流を深め、なにわエコパートナーの拡大を図ります。
- ・「環境にやさしいライフスタイルの推進」、「企業の環境配慮行動の推進（環境にやさしい企業活動の推進）」、「地域と連携した環境教育啓発活動の推進」、「生物多様性の発見と行動の推進」を活動の柱とします。
- ・「環境ふれあいひろば」など「なにわエコ会議」活動に当たっては、4部会が協働して実施します。

2 事業計画

【全体活動】

- (1) 各種環境活動団体との連携、環境団体との交流・ネットワーク化
各種イベントの開催と参加を通じて、環境啓発活動に努める。
- (2) 若い世代の参加の促進
「環境ふれあいひろば」や大阪市小学校の「理科特別授業」として、食品ロス問題を考える出前講座、「夏休み自由研究 おおさか環境科」、「淀川自然探検隊」などを実施し、若い世代の環境啓発に努める。
学生会員団体である「環境保護・国際協力サークル CHOVORA!!」の積極的なかわりをサポートする。
- (3) 環境情報誌の発行
環境情報誌「なにわエコウェブ」の発行。（年2回 各8,000部）
- (4) ICTの活用による情報発信
なにわエコ会議ウェブサイトの新着情報やツイッターによる情報発信。
- (5) 啓発ツールの活用

副読本「おおさか環境科」の啓発ツールや、独自に開発した啓発ツール「エコすごろく」「エコ紙芝居」「なぞなぞ帳」など、イベント等で活用するとともに、カードゲーム「食べ残し NO ゲーム」を活用し、楽しみながら食品ロスを考える機会を提供する。

市民向け省エネ対策集「楽しくかしこくエコライフ：改定版」（冊子）や企業向け「電気の省エネ対策集」（冊子）を活用し、家庭や企業の省エネ等の普及に努める。

なにわエコ会議作成の LINE スタンプ「それってエコやん【関西弁、大阪弁】（24 スタンプ）」やオリジナルファイルの活用

(6) 第7回 なにわエコ会議賞の表彰

さまざまな地球環境問題に関する環境活動の実践に積極的に取り組んでいる方やなにわエコ会議の活動に積極的に参画している方などを表彰し、環境保全活動の推進を図る。

(7) なにわエコ会議参画団体等との連携

団体会員等と協働した取組みを行う。

事務局の定例会議において、部会間の意見を聞く機会を設け、会員団体の取組み状況などの情報交換を積極的に行う。

(8) 環境ふれあいひろばの開催

大阪市内各区での、なにわエコ会議の知名度アップ及び、地域住民に対する環境やSDGsの啓発を目的として、エコ会議の各部会、団体会員、地域活動団体等が出展するイベントを開催する。

【エコライフ部会】

地球温暖化を少しでも遅らせたり、緩和のための努力を続けるとともに、暑い夏には適応行動を促します。また、気候の極端現象には、防災の知識の普及と軽減行動を提案します。具体的行動として、衣・食・住・移動について、気候正義となる行動を提案。

さらに、エコライフを支えるウェルビーイングの活動として、健康活動を推進します。

1. 地球温暖化に対する活動（地球の健康）

(1) 衣料を中心とする消費財の取り組み（衣類消費で排出する CO2 は全体の 10%）

- ①ファッション性の高いものは、購入ではなく、サブスクリプションを活用。
- ②衣料は、単一素材のものを選び、リサイクルする。
- ③消費財は、リフィルのあるものを使い、容器類は、分別・リサイクル等に回す。
- ④買い物は、いつもマイバッグを持参する。→マイバッグキャンペーン
- ⑤アップサイクルされたものを利用する。

(2) 食品に対する取り組み（食料品関連で排出する CO2 は全体の 12%）

- ①蛋白質を摂る場合、できる限り植物性で摂り、動物性を減らす。
◎アニマルウェルフェアを考慮
- ②動物性蛋白質を摂る場合の優先順位：（代表例）魚>鶏>豚・羊>牛
- ③放牧のために森林破壊を起こしている。
◎ファクトリーファーミングから、輪換放牧へ
- ④牛のゲップ（CH4）は、温暖化ガスシェアの4%もある。
- ⑤できる限り、国産のもの、地産地消や旬産旬消を。→食べ残し NO ゲーム

(3) 住についての取り組み（住関連で排出する CO2 は全体の 17%）

- ①断熱構造を高める、太陽光発電等の導入、住宅の ZEH（ゼロエネルギーハウス）化など、構造的に減らす。
- ②こまめな節電（節電タップの活用など）
- ③あの手この手：照明器具の清掃、長年使った冷蔵庫は省エネ型に変更、節水型トイレ、壁紙やカーテンを明るい色に、打ち水、風鈴、鈴虫。など

(4) 移動についての取り組み（移動で排出する CO2 は全体の 12%）

- ①車は自己所有から共同使用やサブスクリプションの活用。
- ②エネルギーは、ガソリン・軽油から電気（・水素）へ（航空機燃料も再生燃料化の時代）
- ③公共交通機関の活用、歩く、自転車の活用。
- ④リモートワークやオンライン会議の活用

これら、衣・食・住・移動という個人（家庭）のライフスタイル分野において、CO2 排出量全体の 50%以上を出しています。（注：サービス、レジャーのカウントを除く）

この4分野から温暖化対応エシカルライフの啓発と推進を提案します。

2. エコライフを支える活動（人の健康）

「本気のラジオ体操」を活用した健康活動

エコライフを持続するためには、健康な身心でいることが大切。そのため、「本気のラジオ体操」を活用した健康活動を推進します。

（主な活動）

- ①地球温暖化に対するエコライフセミナー（衣・食・住・移動などについて、気候正義となる行動を提案する）
 - ◎2022年度制作の「たのしくかしこくエコライフ改定版」冊子を活用
- ②「本気のラジオ体操」を取り入れた健康増進セミナー（200の骨400の筋肉を活性化させる）
 - ①②のセミナー例）・老いに品格をそえるセミナー
 - ・賢い食事で健康をつくる
 - ・100才時代のライフスタイルセミナー
- ③マイバッグキャンペーン（環境教育・啓発部会との協働）
- ④食べ残しNOゲーム（環境教育・啓発部会との協働）
- ⑤環境ふれあいひろば（全体活動）
- ⑥協働団体等への出展など

【環境教育・啓発部会】

環境教育啓発部会

環境問題に関心を持ち活動している個人・団体と連携を深めつつ、地域に根差した環境教育啓発活動を推進します。同時に若い世代の参加を促進します。

- (1) 市内各区・団体等のイベントに積極的に参加するとともに、地域に根差した取り組みを進めます。
 1. 「大阪市こどもカーニバル」に参加出展する。
 2. 「わくわく夏休みお助け隊」に参加出展する。
 3. 「あべのキッズサマープロジェクト」に参加出展する。
 4. 「咲洲子ども EXPO」に参加出展する。
 5. 「鶴見区民まつり」に参加出展する。
 6. 「エコ緑日」に参加出展する。
- (2) 「脱炭素社会」や「プラスチックごみ減量」「SDG s」などをとりいれた、環境教育・啓発活動をさらに推進します。
 1. 「マイバッグキャンペーン」に参加する。
 2. 「連合大阪、南港野鳥園 清掃活動」に参加する。
- (3) 大阪市の副読本「おおさか環境科」や「食べ残し NO ゲーム」などを活用した出前講座を実施します。
 1. 「夏休みの宿題応援 おおさか環境科」を実施する。
 2. 「食べ残し NO ゲーム」を実施する。
- (4) 「エネルギー関連実験機材」「エコすごろく」「自然工作」などを活用し、効果的な環境教育・啓発活動を推進します。
- (5) 上記の活動に当たっては、教育機関や PTA、環境保全活動に取り組んでいるサークル等との連携を図ります。
 1. CHOVORA!! (大阪公立大学) との協働
 2. 活動する地域への広報活動をする。
- (6) 環境問題全般について、部会員の学習を深めます。
 1. 事務局からのセミナー等の案内を部会員で共有し、積極的に参加する。
 2. 部会内での学習会・施設見学会を実施する。

(主な活動)

大阪市こどもカーニバル、わくわく夏休みお助け隊、あべのキッズサマープロジェクト、咲洲子ども EXPO、鶴見区民まつり、エコ緑日、マイバッグキャンペーン、連合大阪 南港野鳥園 清掃活動、夏休みの宿題応援 おおさか環境科、食べ残し NO ゲーム (内容に応じて、エコライフ部会、生物多様性部会と協働)

【環境に配慮した企業部会】

脱炭素社会や資源循環型社会など持続可能な経済社会の構築に向けて、企業の環境への取組みを促進するために、大阪市、企業・企業団体と連携した活動を推進し、SDGs達成に貢献していきます。

- (1) 脱炭素社会推進やプラスチックごみ削減など大阪市の環境関連施策に協力していきます。
- (2) 大阪市環境経営推進協議会の環境活動（セミナーや視察研修会等）に協力していきます。
- (3) エコアクション 21 認証取得及びレベルアップを目的とした EA21 スクール（講習会）を実施します。
- (4) CO2 削減コンペ・プラスチックごみ削減コンペを実施し、優秀な事業者には、大阪市と連名で表彰を行います。また、表彰式と併せて環境セミナーを開催します。
- (5) 事業者からの希望に応じて、SDGs や ESG 経営などの取組みについて、オンライン相談や訪問相談による支援を行います。

（主な活動）

エコアクション 21 スクール、CO2 削減コンペ・プラスチックごみ削減コンペ（表彰式、セミナー）、SDGs や ESG 経営のオンライン相談や訪問相談、環境ふれあいひろば（全体活動）など

【生物多様性部会】

生物多様性部会が新たな部会として作られた2019年以来、主に子どもと保護者を対象とした活動をしてきました。2023年度も同様な活動を行います。

部会員が少ないことから、他部会の方や団体、大阪公立大学ボランティアグループCHOVORA!!等の協力もいただきながら実施していく予定です。また、部員の勧誘を積極的に行います。皆さまのご協力をお願いします。

(1) 図書館水生生物標本等展示

2020、2021、2022年度に引き続いて実施する。図書館において、水生生物の標本の展示及び図書館側による水生生物関係の書籍の特別展示を行う。また、水生生物の生物多様性について講演を行う。

(2) おおさか環境科（夏休み）

河川水生生物の講習、標本観察及びそのスケッチをすることにより生物の見方の教育及びに生物多様性の教育・啓発を行う。

大阪公立大学ボランティアグループCOVORA!!の協力を得て行う。

(3) 淀川自然探検隊2023（仮称）

淀川河口について、陸域、水域の生物多様性を9回(予定)の観察会をとおして啓蒙する。内容としては2022年度行った石干見漁(干潟部分の魚等を潮の干満を利用して採取・観察する)、釣り体験、鳥類観察を行う。また、淀川上流部(水無瀬川等)の河川水生生物観察会を実施する。

COVORA!!の協力を得て行う。

(4) 環境ふれあい広場（in 城東）

水生生物の標本と来場者への説明により生物多様性の啓発・教育を行う。

(5) ECO緑日

水生生物の標本と来場者への説明により生物多様性の啓発・教育を行う。

(6) 鶴見区民まつり

水生生物の標本と来場者への説明により生物多様性の啓発・教育を行う。

(7) 生物多様性ネットワーク会議

他生物環境団体と交流を行う